

# ご協力依頼

## 「焼却熱の工場利用の実施可能性調査」

へのご協力をお願いいたします[調査締切;6月24日]。

### 1 調査の趣旨

近年、廃棄物からのエネルギー回収の高度化が急務の課題になりつつあります。清掃工場の回収熱を製造業の工場で利用する取り組みは、情報技術などを活用することで小規模の焼却炉でも連続的な安定供給が実現可能なうえ、資源消費の節約、CO<sub>2</sub>の削減、ボイラー条件の緩和、発電装置への設備費の軽減など多くの利点があります。しかし、国内では認知度が低く、普及に至っていません。その状況を打開するためには、清掃工場の置かれた実態やそれを管轄する自治体または一部事務組合の実態やお考えを把握することが重要となります。そこで、東京理科大学では、国内の清掃工場を管轄する自治体または一部事務組合に対してアンケート調査を実施させていただくことにしました。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、本アンケート調査は、環境省環境総合推進費(3-1709)「廃棄物の高度な地域熱利用のための技術・社会システムに関する研究(課題代表;藤井実(国立研究開発法人国立環境研究所環境イノベーション研究室室長))」の一部として実施するものです。

### 2 調査の実施方法

ウェブサイトにてご回答いただく形式をとっております(締切;6月24日)。



自治体または一部自治組のご担当者様に郵送にてURL、ログインID、パスワードをお伝えいたします。また、全国都市清掃会議HPにリンクをはる予定です。

ログインID、パスワードは、清掃工場ごとに配布いたします。複数の清掃工場をお持ちのところはお手数ですが、それぞれご回答願います。

### 3 調査の内容

ウェブサイトの構成は、以下の4つからなります。

- ①自治体または一部事務組合を対象とした今後の清掃工場の更新あるいは改良、エネルギー回収に関するお考えや地域特性、住民協定の状況についての質問(問1~4)
- ②焼却熱の工場利用の事例紹介(韓国・ウルサン市)
- ③清掃工場ごとの廃棄物発電や地域熱利用の実態および今後の更新あるいは改良に対するお考え等についての質問(問5~9)

学校法人東京理科大学工学部経営工学科 助教 大西悟  
Tel:04-7124-1501(内線:3812)、e-mail:ohnishi-s@rs.tus.ac.jp

\* 焼却熱利用に関するご相談がありましたらお寄せください。

なお、お答えいただいた情報は、個別の自治体または一部事務組合を特定することはせず、本推進費の研究目的以外には利用いたしません。

#### ④簡易な費用便益の表示

焼却熱の工場利用を実施した際の費用と便益を簡易に表示いたします。

